

亡き人との「つながり」 この世での新たな「縁」



大聖寺 住職
松尾 眞弘 さん

始まりは一通の手紙

舞鶴で生まれ育った松尾住職。平成12年に正式に住職となった。「緑のポスト」は30数年前に特定郵便局長だった檀家から寄贈されたもので、住職になる前から、緑に塗り替えられ、さい銭箱として境内に置かれていた。

亡き人への思いを手紙にしたためて伝えたい。そんな願いを叶えられる場所が舞鶴にはある。

北吸の大聖寺の境内にある「緑のポスト」。投函された手紙は、毎年春と秋の彼岸のころ、投函された人の思いが亡き人に届くよう祈りながら焚き上げて「配達」される。

日々人々の心に寄り添いながら、亡き人へ手紙を届け、この世での新たな「縁」をつないでいる松尾さんに話を伺った。

と思っていました。しかし、今でも毎回100通を超える手紙が届きます。やはり心に思っているだけでなく手紙という形にすることで、行動に移すことが心の整理になるんだと思います」と当時を振り返りながら話す。

縁をつなぐ場所

手紙は事前に書いて来られる人、事務所書かれる人とさまざまだが、最近はお焚き上げで炎に包まれて燃え上っていくところを見届けたという人も多いという。「お焚き上げの際に『自分の手紙が燃え、燃え上がった灰が風に乗って自分に飛んできて、思いが届いた、返事をもらった気がする。ありがと』と涙ながらに言っていたこともあります。ご参列いただいた人で涙が止まらなくなる人もいますが『平年前の私もつやつやした。でもね、時がたつと少しずつ気持ちも落ち着いてきますよ』と参列者同士で声掛けをされたりと、ここで出会った人たちの間で新たな「縁」も生まれています」とうれしそうに話す。

「技術の進歩などが最近では目覚ましいですが、人と人とのつながりは昔より薄れてきています。そんな中、亡き大切な人への手紙というものは、縦のつながりを大切にすることで、そして、こうしたお寺の行事を通して今を生きる人の



▲緑のポスト



▲お焚き上げを行う松尾住職(大聖寺提供)

？ 広報アンケート

あなたの意見や感想を聞かせてください！

「広報まいづるアンケート」

1. 「広報まいづる」の内容の満足度は次のうちどれですか？
①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満
2. 広報まいづるの活用で興味・関心を持った記事は何ですか？
3. どんな時に人とのつながりを感じますか？

「応募方法」

「はがき〒625-8555(住所不要)舞鶴市役所広報広聴課あて」か「市ホームページ」で①アンケートの回答②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥広報紙や市政への意見などを記入し、3月25日(金)消印有効までに広報広聴課へ。

※応募は一人一通。当選者は全てのアンケートに回答があった人の中から抽選で決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。

【提供】ジェリーズ ポップコーン D'sスマイル
(余部上208、☎090・8167・4263)

今月のプレゼント



「旨塩」「キャラメル」「チョコバナナ」ポップコーン3種セット

ジェリーズ 京都府北部地域を中心に移動販売を展開するジェリーズ Popcorn!! 通販も手掛ける同店の商品は楽天ポップコーンランキングで1位を獲得したことも、15種類ものフレーバーがあり、どれも手が止まらなくなる逸品ぞろい。その中から今回は、濃厚な旨味が後を引く「旨塩」、カリッと香りがよく甘みの広がる「キャラメル」、チョコとバナナが口の中で見事に絡み合う「チョコバナナ」の3種類をプレゼントします。

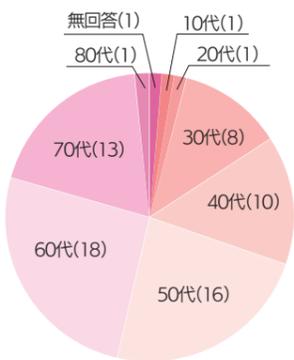
広報通信

広報アンケートを紹介

◆「応募件数」月10日時点

69件(フォーム51件、はがき18件)

◆「2月号」の応募者年代



◆「2月号」の人気記事

- ◆1位：新成人の門出華やかに(15票)
- ◆2位：上下水道だより(17票)
- ◆3位：田舎暮らしの本(子育て世代が住みたいまちで近畿エリア1位)7票
- ◆同率3位：マイ健康通信7票

成人式の様子を紹介した記事に票が集まりました。写真がいっぱいで、目も楽しませてもらっている。故郷を忘れず、いろんな場所で活躍してほしい「未来を担う華やかな新成人の姿はとも頼もしく思う。頑張れ」など新成人を応援するコメントが多くありました。

2位は上下水道アンケートの結果発表について紹介した記事で「水道料金について

て比べているのは興味深かった「身近な内容で楽しく読めた。クリーンまさは、大掃除の時に掃除できていなかったのでもっとした」などのコメントがありました。

◆「2月号」広報アンケート

◆「広報紙の好きなところ」は、「舞鶴のことがよく分かる。毎月楽しみにしている」「いろいろな情報が分かりやすく書いてある」「舞鶴の知らないところを知ることができ」「優しい色使いで写真が多く読みやすい」などうれしいコメントがたくさんありました。

◆「広報紙にアドバイスするなら…」や「やまなみ」について「親子で読めるページを増やして欲しい」「観光情報をもっと掲載すべき」「縦書きと横書きの混在は読みにくい」「雑誌ではなく、もっと市民に伝えるべきこと、市として実行すべきことを明確に伝えるべき」などのアドバイスをいただきました。いただいたアドバイスを参考に、市の情報をさらに分かりやすく伝え、市民の皆さんに愛される広報紙を目指します。今後皆さんの意見や感想をお待ちしています。

《広報広聴課》